

エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションへの日本人専門家参加の概要

参加する専門家：神戸大学 自然科学系先端融合研究環都市安全研究センター 教授
兼 医学部附属病院感染症内科長
岩田 健太郎 (いわた けんたろう) 医師

訪問予定先： シエラレオネ

参加期間：平成 26 年 12 月 14 日～平成 27 年 1 月中旬 (約 1 か月)

目的：エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションに専門家として参加し、現地の疾病発生状況及び対策の現状等について調査及び評価を実施するとともに、必要に応じて技術的助言等を行う。

日本における WHO ミッションへの日本人専門家派遣の実績：

平成 12 年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、3 回にわたり計 5 人(延べ 6 人)の専門家が派遣されています。

平成 24 年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、1 名の専門家が派遣されています。

平成 26 年 5 月、8 月、11 月にリベリアに、7 月、10 月、11 月にシエラレオネに、WHO の要請を受けて、エボラ出血熱対策の専門家として、9 名 (延べ 10 名) の専門家が派遣されています。

参考 (厚生労働省検疫所ホームページ)：

・エボラ出血熱

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name48.html>